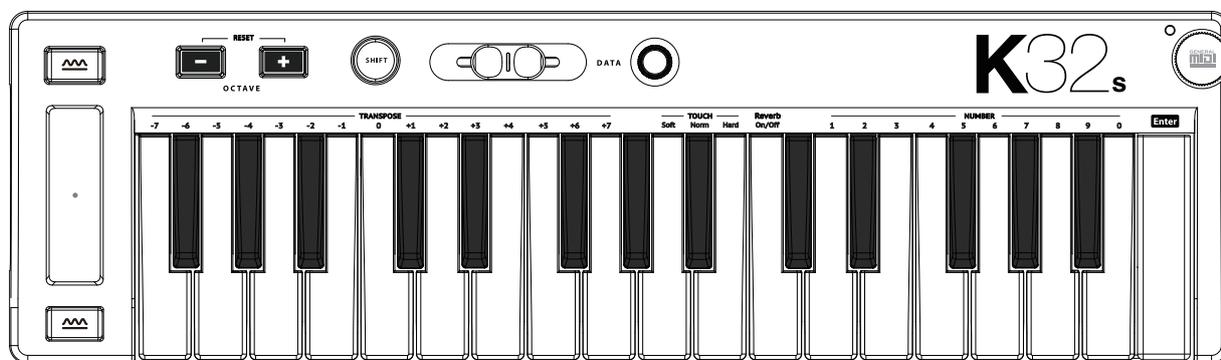


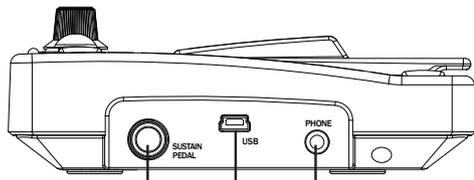
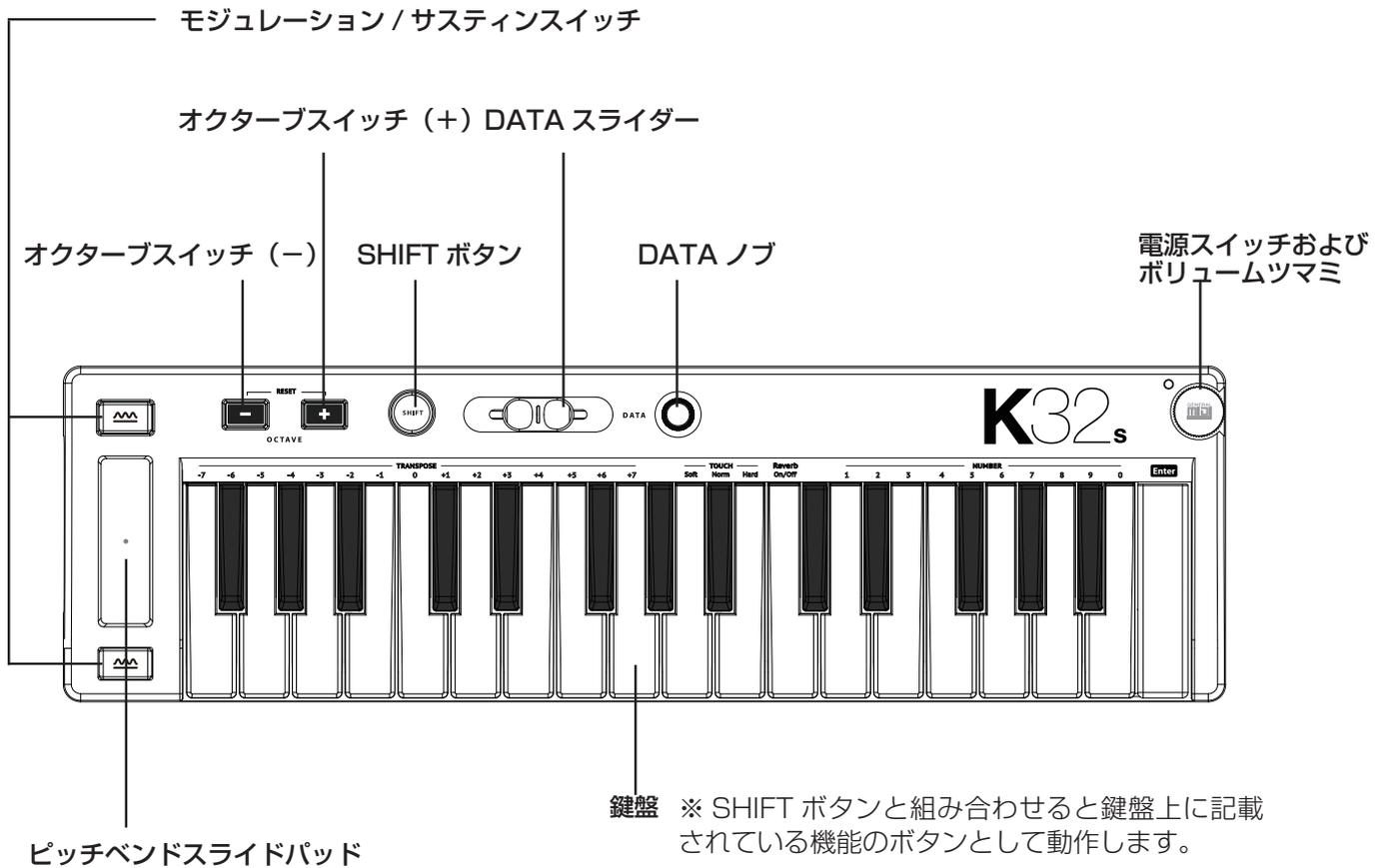
# K32<sub>s</sub>

MIDITECH・K32s  
GM音源・スピーカー内蔵 USB対応 MIDI キーボード

## 取扱説明書



# 各部の名称



## サスティンペダル端子

ノーマルクローズタイプの市販品のサスティンペダルを接続して使用します。極性の変更はできません。MIDITECH サスティンペダル品番:SP-2 をおすすめします。

## USB 端子

PC (Windows または MAC) と接続して MIDI キーボードとして使用することが可能です。また、電源を供給すると内蔵充電電池に充電が可能です。

## ヘッドフォン/オーディオ出力端子

3.5mm のミニステレोजackタイプのヘッドフォンを接続すると、内蔵 GM 音源の音を聞くことができます。またスピーカー、ミキサーなどのオーディオ出力として使用できます。

## PC と接続して使用する場合の要件

Windows	MacOS
Pentium 3.8GHz以上	Macintosh G3*800/G4*733MHz以上
ノートPCでは上記より高いスペックが要求される場合があります。	ノートPCでは上記より高いスペックが要求される場合があります。
メモリ 256 MB 以上	メモリ 256 MB 以上(OS X 10.3.9)
Direct X 9.0b 以上	メモリ 512 MB 以上(OS X 10.4.2)
Windows XP (SP2) 以上 *Windows 98,Me,NT,2000は非対応	*G3/G4 搭載のアクセラレーターには対応していません。

# はじめに

## 安全上のご注意～必ずお読みください～

- 表示された電圧でご使用ください。表示以外の場合、火災、感電、破損の原因になります。
- 本機の裏ぶたやカバーを開けたり、分解、改造をしないでください。火災、感電、破損の原因になります。修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機は湿気の多い環境、高い温度の場所、日光が直接あたる場所での使用は避けてください。
- 長い時間使用しない場合は電源を切り、充電池をとり外してください。
- ラジオまたはテレビの近くでは受信する電波に影響を与える場合があります。これらの機器とは十分な距離を取ってご使用下さい。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません

本取扱説明書は大切に保管してください。

## イントロダクション

この度は、MIDITECH K32s をお買い上げいただき誠にありがとうございます。K32s はコンパクトな 32 鍵キーボードに、GM 対応の高音質音源とスピーカーを搭載した大変便利な MIDI キーボードです。

USB 接続で DAW などの MIDI 入力用キーボードとして使用できるほか、ライブやレッスン用の簡易キーボードとしても活躍します。また、充電式バッテリーに対応しておりますので、本体だけ

で音を出すことができ、アウトドア環境でも音楽を楽しめます。

内蔵音色は GM 準拠の 128 音色に加えて、ブラシセットやオーケストラキットを含む 5 種類のドラムセットを搭載。

さらにリバーブも搭載しており、高音質なサウンドをいつでもどこでも手軽に楽しむことができるパーソナル・ミニ・キーボードです。

## 主な特徴

- 32 鍵キーボード
- GM に対応した 128 音色、5 ドラムセットを搭載
- スピーカー内蔵
- トランスポーズ機能を搭載
- オクターブシフトボタンを装備
- Shift ボタンとキーボードスイッチで簡単なオペレーション
- ピッチベンドスライドパッドを装備
- データエンコーダーおよびスライダーを搭載
- 単 3 乾電池または充電式乾電池仕様  
(USB 給電で充電可能)
- USB バスパワー駆動可能

## 仕様

接続端子	・ USB-B タイプ (PC 接続用) ・ サスティンペダル端子 ・ 3.5mm ヘッドフォン端子 (内蔵 GM 音源用)
電源仕様	・ USB バスパワー (500mA 以下) ・ 3.6V (充電式 1.2V ニッケル水素電池) (内蔵 GM 音源用)
寸法・重量	・ 424 × 117 × 31mm ・ 1Kg
付属品	・ USB ケーブル、取扱説明書

# 音色表

## GM Sound list :

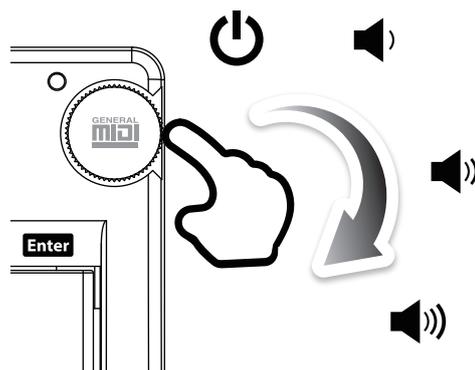
- |                        |                       |                        |
|------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. Grand Piano         | 47. Orchestral Harp   | 93. Pad 5 (bowed)      |
| 2. Bright Piano        | 48. Timpani           | 94. Pad 6 (metallic)   |
| 3. E.Grd Piano         | 49. String Ensemble 1 | 95. Pad 7 (halo)       |
| 4. Honky Piano         | 50. String Ensemble 2 | 96. Pad 8 (sweep)      |
| 5. E.Piano 1           | 51. Synth Strings 1   | 97. FX 1 (rain)        |
| 6. E.Piano 2           | 52. Synth Strings 2   | 98. FX 2 (soundtrack)  |
| 7. Harpsichord         | 53. Choir Aahs        | 99. FX 3 (crystal)     |
| 8. Clavi               | 54. Voice Oohs        | 100. FX4 (atmosphere)  |
| 9. Celesta             | 55. Synth Voice       | 101. FX 5 (brightness) |
| 10. Glockenspiel       | 56. Orchestra Hit     | 102. FX 6 (goblins)    |
| 11. Music Box          | 57. Trumpet           | 103. FX 7 (echoes)     |
| 12. Vibraphone         | 58. Trombone          | 104. FX 8 (sci-fi)     |
| 13. Marimba            | 59. Tuba              | 105. Sitar             |
| 14. Xylophone          | 60. Muted Trumpet     | 106. Banjo             |
| 15. Tubular Bells      | 61. French Horn       | 107. Shamisen          |
| 16. Santur             | 62. Brass Section     | 108. Koto              |
| 17. Drawbar Organ      | 63. Synth Brass 1     | 109. Kalimba           |
| 18. Percussive Organ   | 64. Synth Brass 2     | 110. Bag pipe          |
| 19. Rock Organ         | 65. Soprano Sax       | 111. Fiddle            |
| 20. Church Organ       | 66. Alto Sax          | 112. Shanai            |
| 21. Reed Organ         | 67. Tenor Sax         | 113. Tinkle Bell       |
| 22. Accordion          | 68. Baritone Sax      | 114. Agogo             |
| 23. Harmonica          | 69. Oboe              | 115. Steel Drums       |
| 24. Tango Accordion    | 70. English Horn      | 116. Woodblock         |
| 25. Ac. Guitar (nylon) | 71. Bassoon           | 117. Taiko Drum        |
| 26. Ac. Guitar (steel) | 72. Clarinet          | 118. Melodic Tom       |
| 27. El. Guitar (jazz)  | 73. Piccolo           | 119. Synth Drum        |
| 28. El. Guitar (clean) | 74. Flute             | 120. Reverse Cymbal    |
| 29. El. Guitar (muted) | 75. Recorder          | 121. Gt. Fret Noise    |
| 30. Overdriven Guitar  | 76. Pan Flute         | 122. Breath Noise      |
| 31. Distortion Guitar  | 77. Blown Bottle      | 123. Seashore          |
| 32. Guitar harmonics   | 78. Shakuhachi        | 124. Bird Tweet        |
| 33. Acoustic Bass      | 79. Whistle           | 125. Teleph. Ring      |
| 34. Finger Bass        | 80. Ocarina           | 126. Helicopter        |
| 35. Picked Bass        | 81. Lead 1 (square)   | 127. Applause          |
| 36. Fretless Bass      | 82. Lead 2 (sawtooth) | 128. Gunshot           |
| 37. Slap Bass 1        | 83. Lead 3 (calliope) |                        |
| 38. Slap Bass 2        | 84. Lead 4 (chiff)    | [ Drum Set ]           |
| 39. Synth Bass 1       | 85. Lead 5 (charang)  | 211. STANDARD SET      |
| 40. Synth Bass 2       | 86. Lead 6 (voice)    | 212. POWER SET         |
| 41. Violin             | 87. Lead 7 (fifths)   | 213. BRUSH             |
| 42. Viola              | 88. Lead8 (bass+lead) | 214. ORCHESTRA         |
| 43. Cello              | 89. Pad 1 (fantasia)  | 215. CM -64/32         |
| 44. Contrabass         | 90. Pad 2 (warm)      |                        |
| 45. Tremolo Strings    | 91. Pad 3 (polysynth) |                        |
| 46. Pizzicato Strings  | 92. Pad 4 (choir)     |                        |

※ GM (General MIDI) とは、音源の音色配列などを定義した MIDI 規格の一部です。K32s の音源部分は GM 規格に準じており、音色マップも GM と互換性があります。なお、USB ケーブルを使用して PC と接続した場合は、16 パートマルチの GM 音源として使用することも可能です。



## 電源の入れ方～音量調節

■充電電池を装着した状態（充電電池の入れ方を参照）で、右図のボリュームツマミを時計回りに回します。「カチッ」と音がするまで回すと電源が入ります。鍵盤を弾くとピアノの音色が出ますので、ボリュームツマミを調整して適当な音量に調整して下さい。時計回りに回しきった状態が最大音量となります。



## 音色の切り替え

■音色の切り替えは3つの方法があります。

### オクターブスイッチで変更する

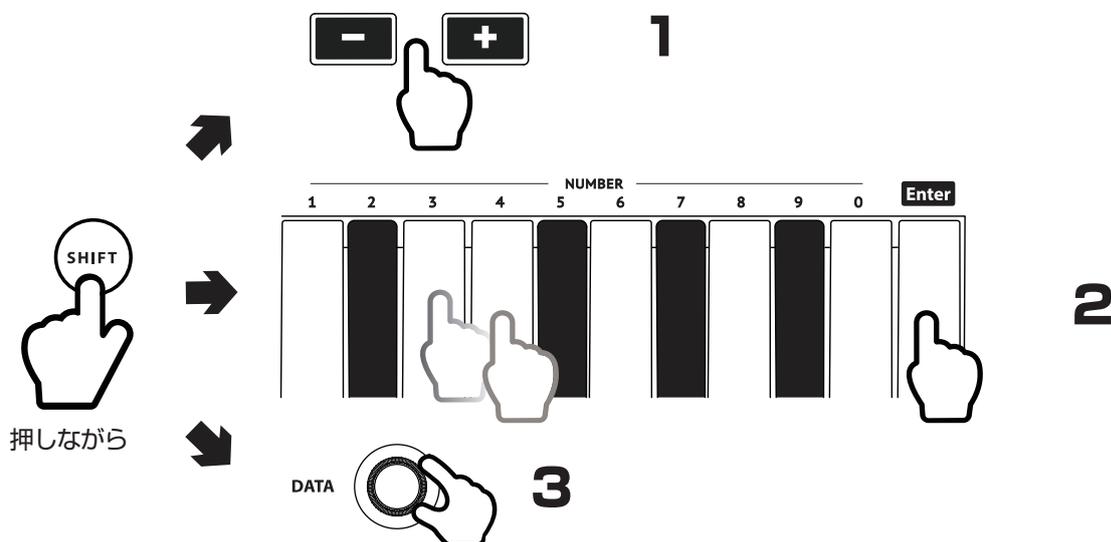
1. SHIFT ボタンを押しながら、現在の音色番号から進めたい（戻りたい）数だけオクターブスイッチを押してから SHIFT ボタンを離すと、右ページの音色番号どおりに切り替わります。例えば、1.Grand Piano の状態で+ボタンを5回押すと 6.E.Piano 2 に切り替わります。

### 音色番号を入力して変更する

2. SHIFT ボタンを押しながら、上部に NUMBER と書いてある鍵盤を使って指定したい音色番号を入力し、Enter の鍵盤を押してから SHIFT ボタンを離すと、右ページの音色番号どおりに切り替わります。例えば 66.Alto Sax に切り替えたい場合は、SHIFT ボタンを押しながら 6 と記載されている鍵盤を2回押して Enter の鍵盤を押してから SHIFT ボタンを離します。

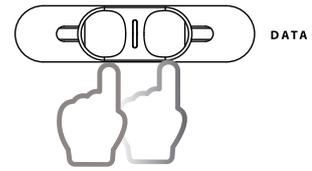
### DATA ノブで変更する。

3. SHIFT ボタンを押しながら、DATA ノブを回すとノブのクリック（カタカタと切り替わります）に合わせて右ページの音色番号どおりに音色番号が上下します。希望の番号まで進めたら（戻したら）SHIFT ボタンを離すと切り替わります。右に回すと数値が上がり、左に回すと数値が下がります。



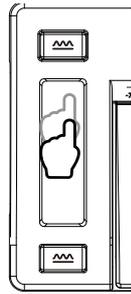
## ブライツネスの変更

■ DATA スライダーを動かすと、音のブライツネス（ローパスフィルターのカットオフ周波数）を変更することができます。右に動かすと音が明るくなり、左に動かすと暗く（こもったように）なります。※既に出ている音に対しては効きません。必ず鍵盤を弾き直してください。

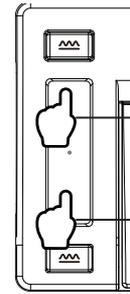


## ピッチベンドスライドパッド

■ピッチベンドスライドパッドはパッドに触れながら指を上下させることで、鍵盤で弾いた音の音程を連続的に上下することができます。また、任意の場所をタッチすると瞬間的にその音程にピッチを変化させることもできます。



指をスライドさせると、ピッチが連続的に上下します。

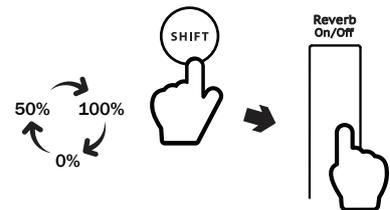


中央より上をタッチするとピッチが上がります。

中央より下をタッチするとピッチが下がります。

## リバーブの変更

■ Shift ボタンを押しながら Reverb On/Off の表示がある鍵盤を押して Shift ボタンを離すとリバーブの量を変更できます。上記の動作を一回行うごとに、リバーブ Off > リバーブ 50% > リバーブ 100% の 3 つのリバーブ量を繰り返して設定されます。

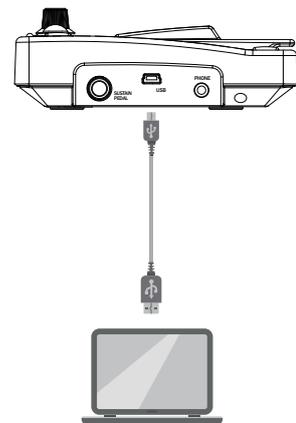


## PC との接続

■付属の USB ケーブルを使用して PC の USB 端子と接続することで、DAW ソフトウェアなどの MIDI キーボードまたは MIDI 音源として使用することが可能です。USB で接続中は Shift ボタンが青く点灯します。MIDI 入力用キーボードとして使用する際には、電源ツマミをオンにする必要はありません。ただし、DAW 側から K32s の内蔵 GM 音源を鳴らす場合には、電源ツマミをオンの状態（ボリュームを適宜調整して下さい）で使用して下さい。

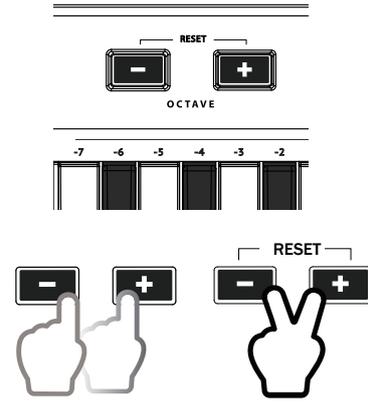
K32s で MIDI 入力を行う場合は、DAW 側の入力用 MIDI ドライバを選択する部分で「K32s」というドライバを選択して下さい。また、K32s の音源を DAW 側から鳴らしたい場合は、MIDI の出力先に「K32s」を選択して下さい。

また、PC と USB 接続して DAW ソフトウェアなどのコントローラーキーボードとして使用した場合には、DATA スライダーを使ってコントロールチェンジの 21 番を、DATA ノブを使ってコントロールチェンジの 22 番を出すことができます。



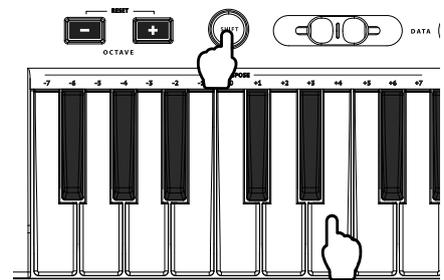
## オクターブの変更

■オクターブの変更は、オクターブスイッチで行います。+ ボタンを押すとボタンが黄色く点灯し、1 オクターブ上にシフトします。もう一度+ ボタンを押すとボタンが青く点灯し、さらに1 オクターブ上にシフトします。もう一度+ ボタンを押すとボタンが紫色に点灯し、さらに1 オクターブ上にシフトします。- ボタンを押すと1 オクターブずつ下にシフトします。プラス方向と同様に黄色、青、紫の順で最大3 オクターブシフトすることができます。また、オクターブをリセットしたい場合には、+ ボタンと- ボタンを同時に押します。



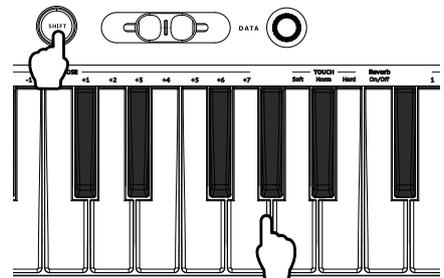
## トランスポーズ

■半音ずつトランスポーズさせたいときは、Shift ボタンを押しながら TRANSPOSE (-7 ~ +7 の数字) が記載されている鍵盤を押します。Shift ボタンを離すと押した鍵盤の数値でトランスポーズすることができます。例えば+4 の鍵盤を押したときは4 半音上になります。(常に0 の位置からのトランスポーズ値を示しています。)



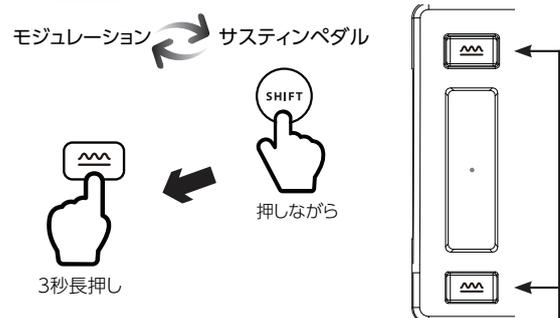
## キータッチ (ベロシティカーブ) の変更

■ Shift ボタンを押しながら TOUCH の表示がある Soft、Norm、Hard のいずれかの鍵盤を押して Shift ボタンを離すと鍵盤のタッチを変更できます。Soft では優しく弾いたときに小さな音 (ベロシティ) が出るようになり、Hard では優しく弾いても大きな音 (ベロシティ) が出るようになります。Norm は Soft と Hard の中間のニュアンスとなります。



## モジュレーション / サスティンスイッチ

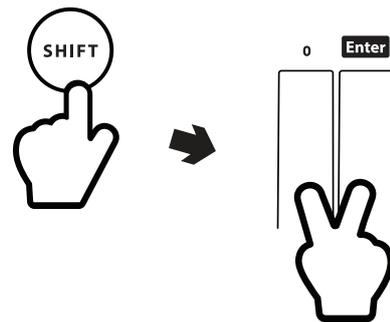
■モジュレーション / サスティンスイッチは上下に2つ搭載されており、モジュレーション (ビブラート) とサスティンペダル の2種類の機能を任意に割り当てて使用することができます。初期設定ではどちらもモジュレーションに設定されていますが、Shift ボタンと変更したい側のモジュレーションスイッチを同時に3秒以上押し続けると機能が切り替わります。モジュレーションスイッチが赤く点灯したときはモジュレーションとなり、青く点灯したときはサスティンペダルとなります。



2つのスイッチを同じ機能にしても違う機能にしても使用可能。

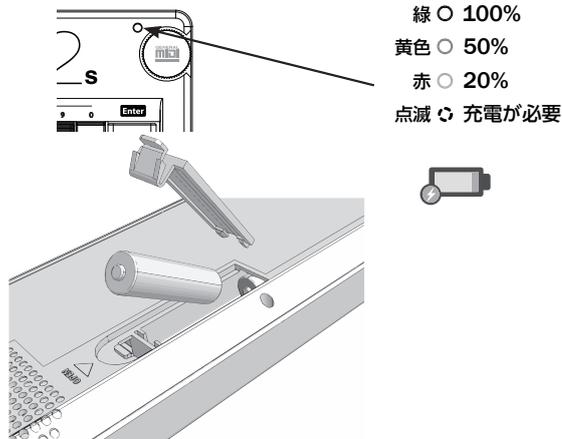
# ファクトリーリセット

■右の図のように、Shift ボタンを押しながら、キーボードの一番右端の白鍵（上部に0とEnterが記載されている鍵盤）を3秒間押し続けると、Shift ボタンが赤く点滅して工場出荷時の初期状態にリセットされます。



# バッテリー交換 LED について

■電源スイッチおよびボリューム脇 LED の色によって、電池の残量を確認できます。右図のように緑（100%）、黄色（50%）、赤（20%）、点滅（充電が必要）となっていますので、必要に応じて USB ケーブルを接続して充電を行ってください。なお、充電電池の交換は背面の電池ボックスを開けて行って下さい。使用できる電池は充電式の単三サイズの充電電池です。充電しない（USB ケーブルを接続しない）状態であれば一般的なアルカリ電池でも使用可能ですが、誤ってアルカリ電池に充電をしてしまうと危険ですので、充電式電池を使用することをお勧めいたします。



# 保証書

保証書	
製品名	MIDITECH K32s
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
お客様情報	住所
	氏名
	TEL _____ e-mail _____
購入店	

MIDITECH 日本総代理店  
〒461-0004 名古屋市東区葵 2-3-13 みねビル 3F  
株式会社ファインアシスト  
www.fineassist.jp